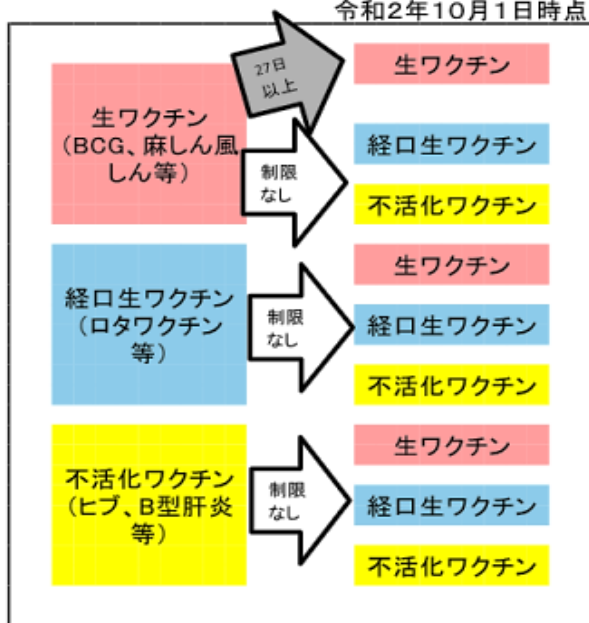


異なるワクチンを接種するときの間隔

令和2年10月1日時点



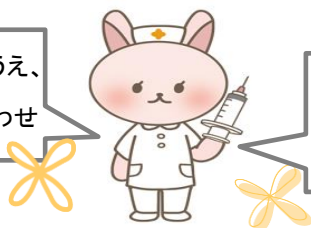
❖予防接種スケジュール❖



根室市子育て世代包括支援センター
☎23-6111

令和6年9月改定

予防接種を受けるときは、母子手帳を持参のうえ、医療機関を受診ください。予約が必要な予防接種は医療機関にお問合わせください。



里帰りなどで市立根室病院以外で接種を希望する場合は健康推進課健康推進担当までご連絡ください。

* 市内予防接種実施医療機関 *

市立根室病院 (小児科) 24-3201	【ワクチン名】 ●ロタウイルス ●ヒブ ●小児用肺炎球菌 ●B型肝炎 ●五種混合 ●四種混合 ●麻しん風しん(MR) ●水痘 ●日本脳炎						【ワクチン名】 ●BCG ●二種混合 ●HPV(市立病院以外でも可※) ※詳しくは健康推進課まで					
	火・木曜日 13:30~15:00【予約不要】						火・木曜日 13:30~15:00【要予約】					
市立根室病院 (小児科) 24-3201	ロタ	ヒブ	小児用肺炎球菌	B型肝炎	五種混合(四種混合)	BCG	麻しん風しん(MR)	水痘	日本脳炎	二種混合	HPV	※おたふく
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⊙	○

【任意の予防接種について】

※任意の予防接種の料金については医療機関にお問い合わせください。

※市立根室病院でおたふくワクチンを接種する場合は、定期予防接種日に小児科外来にて接種希望の旨をお伝えください。

【異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔ルール】

・「注射生ワクチン」接種後27日以上の間隔をおかなければ、「注射生ワクチン」の接種をうけることはできません。

・それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔に関わらず、次のワクチンの接種を受けることができます。

※2種類以上のワクチンについて医師が特に必要と認めた場合には、同時に(接種部位は別々に)接種を行うことができます。

※接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹(はれ)などが出ることがあります。ルール上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や、接種部位の腫脹(はれ)がないこと、体調がよいことを確認し、かかりつけ医に相談の上、接種を受けてください。

☆ 予防接種スケジュール ☆

各ワクチンを開始できる時期をお知らせします。＜予防接種は体調が良好な時に受けることが原則です。また、周りの感染症発生状況によっても異なります。不明な点は、ご相談ください。＞
最初の予防接種は生後2ヵ月のお誕生日から受けることができます！（ロタウイルスワクチンは生後6週間から受けられます）

お子様のお誕生日		年	月	日	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1歳	6ヵ月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	9歳	12歳	
生 ワクチン	ロタウイルス ロタリックス (1価)	定期	経口	☐☐	①	②																				
	ロタウイルス ロタテック (5価)	定期	経口	☐☐	①	②	③																			
不活化 ワクチン	B型肝炎ウイルス	定期	注射	☐☐	①	②			③																	
不活化 ワクチン	小児用肺炎球菌 細菌性髄膜炎の予防	定期	注射	☐☐	①	②	③			④																
不活化 ワクチン	五種混合 ジフテリア・百日咳・ 破傷風・ポリオ・ヒブ	定期	注射	☐☐	①	②	③			④																
不活化 ワクチン	四種混合	定期	注射	☐☐	①	②	③			④																
不活化 ワクチン	ヒブ	定期	注射	☐☐	①	②	③			④																
生 ワクチン	BCG 結核の予防	定期	スチンプ	☐			①																			
生 ワクチン	M R 麻疹・風しん混合	定期	注射	☐☐							①							②								
生 ワクチン	水痘(水ぼうそう)	定期	注射	☐☐							①			②												
不活化 ワクチン	日本脳炎	定期	注射	☐☐													①	②	③					④		
生 ワクチン	おたふくかぜ	任意	注射	☐													①									
不活化 ワクチン	HPV (2価、4価、9価) ヒトパピローマウイルス	定期	注射	☐																						
不活化 ワクチン	二種混合	定期	注射	☐																					①	

***異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔ルール**

- ・「注射生ワクチン」接種後27日以上の間隔をおこななければ、「注射生ワクチン」の接種をうけることはできません。
- ・それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔に関わらず、次のワクチンの接種を受けることができます。

*定期接種 **定期** 国が接種を勧奨しているもの。定められた期間内で接種する場合は費用は無料（公費負担）

*任意接種 **任意** 希望者が医療機関で受けることができるもの。費用は自己負担

☐ 定期の予防接種の対象年齢 ☐ 同時に複数のワクチンを接種することができます。

☐ 任意接種の接種できる年齢 ↔ おすすめの接種時期（数字は接種回数）

※病院によっては、接種の順番が異なる場合があります。